

室戸沖～紀伊水道沖の微動活動

- ・ 2021年12月下旬から始まった活動は、2月8日をピークに低下し、2月15日頃に概ね収束。
- ・ 2月1-11日頃、主な活動域は室戸沖から紀伊水道沖に遷移。
- ・ 3月10-15日頃、紀伊水道沖で小規模な活動。

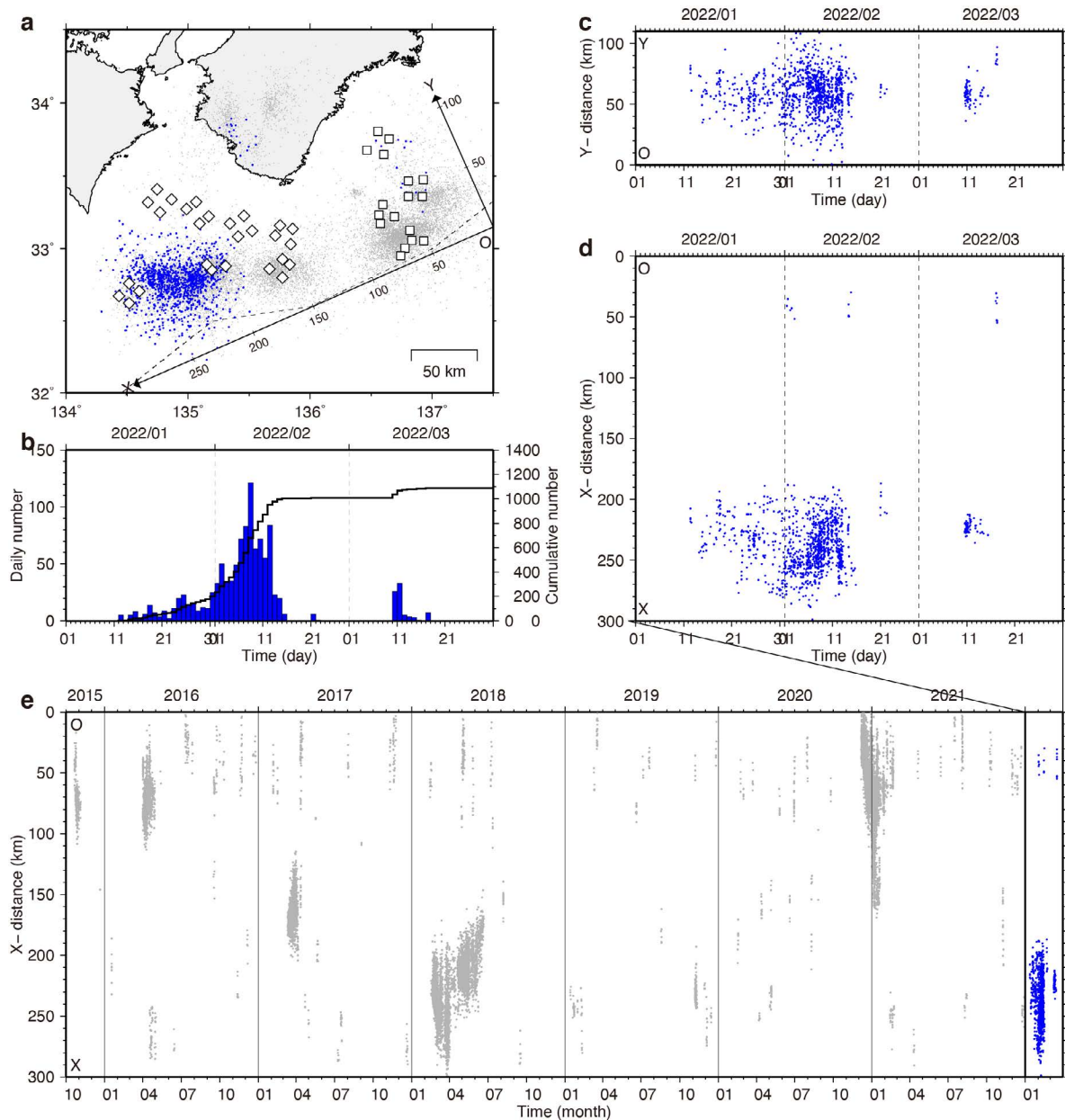


図1：微動の時空間分布。2022年3月31日までの処理結果。(a)震央分布。2022年1月1日以降の微動を青、それ以前の微動を灰色の点で示す。□◇はそれぞれDONET1、DONET2観測点。点線は海溝軸。微動の検出・震源決定にはエンベロープ相関法(Ide, 2010; Ohta et al., 2019)を用い、DONET1およびDONET2の水平2成分速度波形(2-6Hz)を使用。(b)検出数の日別ヒストグラムと累積。(c)震央の時空間分布。沈み込み傾斜方向(Y軸)に投影。(d)沈み込み走向方向(X軸)に投影。(e)2015年10月から全期間の微動の時空間分布(X軸投影)。